

第5次幸手市総合振興計画 後期基本計画策定

第1回 市民検討会議

平成25年1月20日(日)
10:00～12:00



第1回市民検討会議のプログラム

1. オリエンテーション（約10分）

総合振興計画や市民検討会議について説明します。

2. 自己紹介（約15分）

お一人ずつ自己紹介をお願いします

3. 幸手市の現状について（約10分）

基礎データや市民アンケート結果などから、幸手市の現状を紹介します。

（休憩）

4. 意見交換とまとめ（約50分）

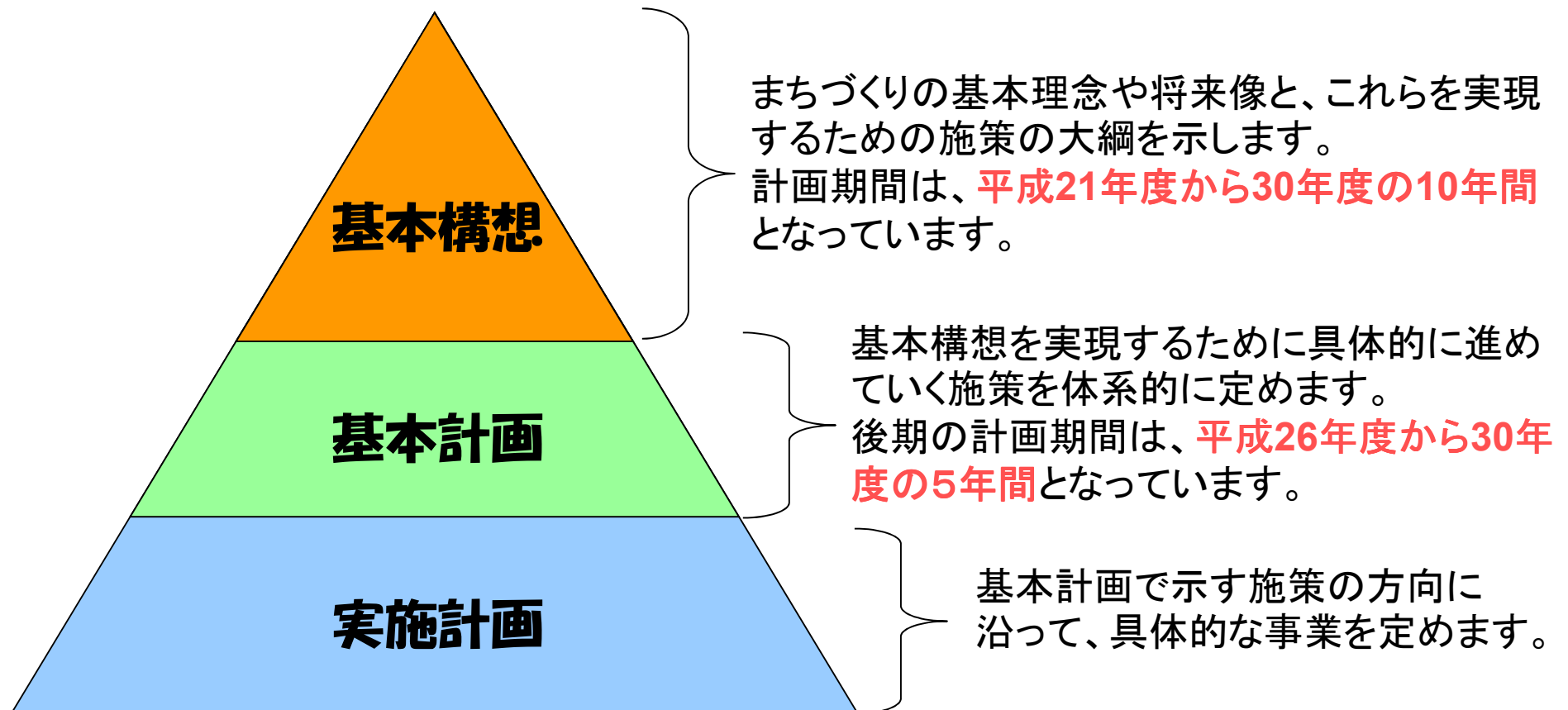
「幸手市のまちづくりにとって重要なテーマ」について、意見交換を行います。



1. オリエンテーション

総合振興計画とは

- 総合振興計画とは、わたしたちのまちの将来像と、それをめざすための基本的な施策を表したもので、幸手市にとってもっとも重要な計画といえます。



第5次幸手市総合振興計画の計画期間

平成(年度)

21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

基本構想(10ヵ年)

前期基本計画(5ヵ年)

後期基本計画(5ヵ年)

実施計画

実施計画

実施計画

今回は、ここを
策定します。

実施計画は計画期間が3年で、
毎年見直しを行う。

第5次幸手市総合振興計画基本構想の概要

まちづくりの基本理念

市民との協働による
計画的なまちづくり

安心・安全で
持続可能なまちづくり

幸手らしさを持つ、
コンパクトながら
活力あるまちづくり

将来像

都市と自然が調和した
安心・安全で活力あるまち 幸手

施策の大綱

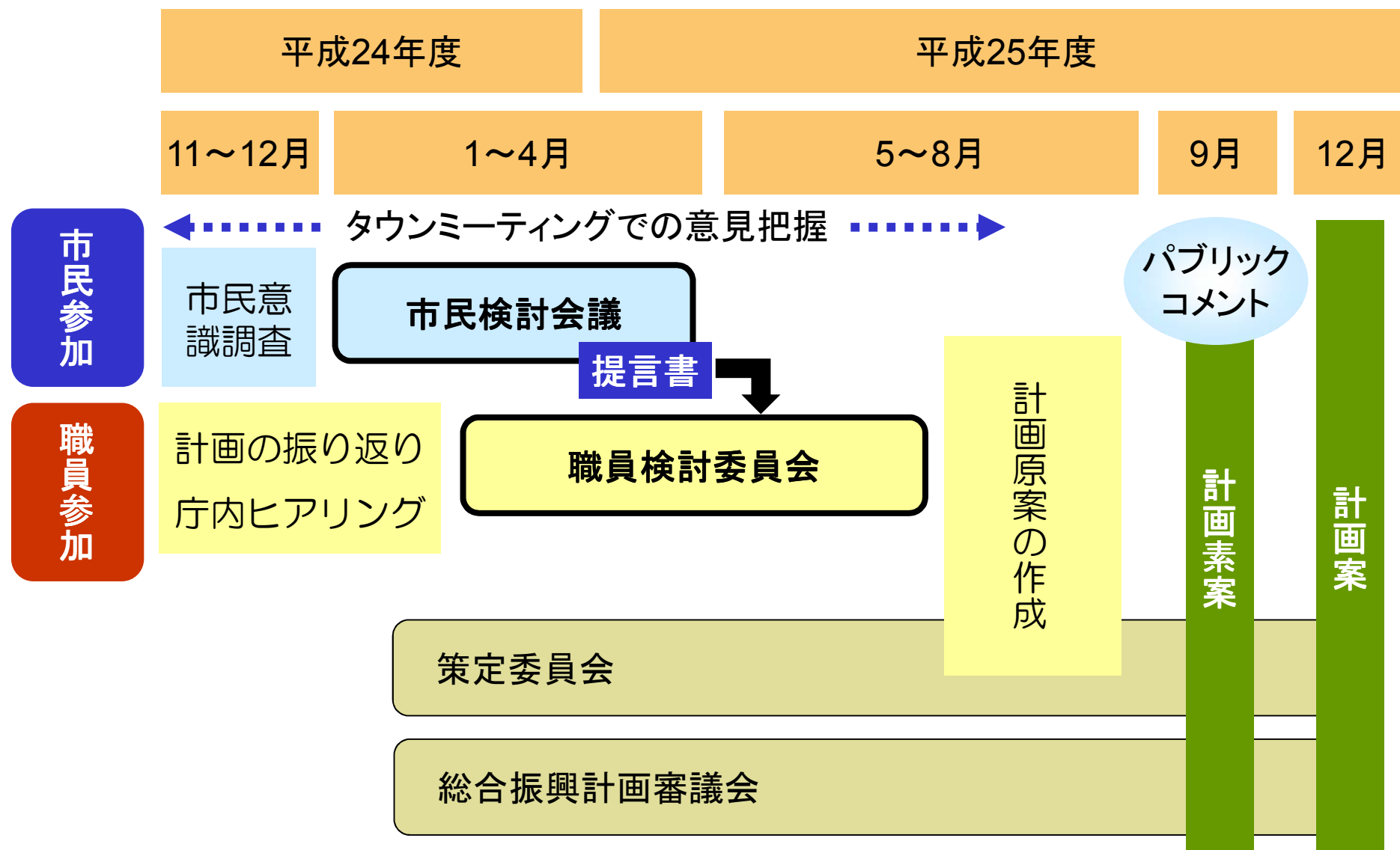
将来像の実現に向けて、施策を7つの分野に分けて、それぞれの方向を示しています。

都市と自然が調和した
安心・安全で活力あるまち 幸手

施策の大綱

- ①自然と共生した安心・安全でゆとりのあるまち
【安心安全・環境分野】
- ②健やかで生き生きとした暮らしのあるまち
【健康福祉分野】
- ③地域の特性を活かした快適で特色あるまち
【都市基盤分野】
- ④明日を支える人を育む教育文化の豊かなまち
【教育分野】
- ⑤活力ある地域経済をおこすまち
【産業分野】
- ⑥市民一体となり自立した地域を育むまち
【市民活動・人権分野】
- ⑦基本構想の実現のために
【行財政運営分野】

後期基本計画の策定スケジュール



市民検討会議について

市民検討会議では、後期基本計画策定にあたって、現状と課題や、課題解決に向けたアイデアなどについて意見交換をしていただき、まとめていきます。

第1回 1/20(日)	テーマ設定	・総合振興計画についての説明 ・自由な意見交換と検討テーマの整理
第2回 2/3(日)	内容検討(1)	※各回ごとに、一つのテーマについて、現状と課題の整理や課題解決に向けた取り組みの検討などを行います。
第3回 2月下旬予定	内容検討(2)	
第4回 3月下旬予定	協働について	・「市民と行政の協働のまちづくり」をテーマに、意見交換を行います。
第5回 4月下旬予定	とりまとめ	・事前送付する「提言書(案)」について、確認します。 ・協働の推進について、とりまとめを行います。

後期基本計画策定に向けた「市民検討会議 提言書」として提出



2. 自己紹介

1 分間スピーチ

お名前、お住まいの地域などのほか
幸手市のまちづくりに対する思いなどを
お話し下さい。

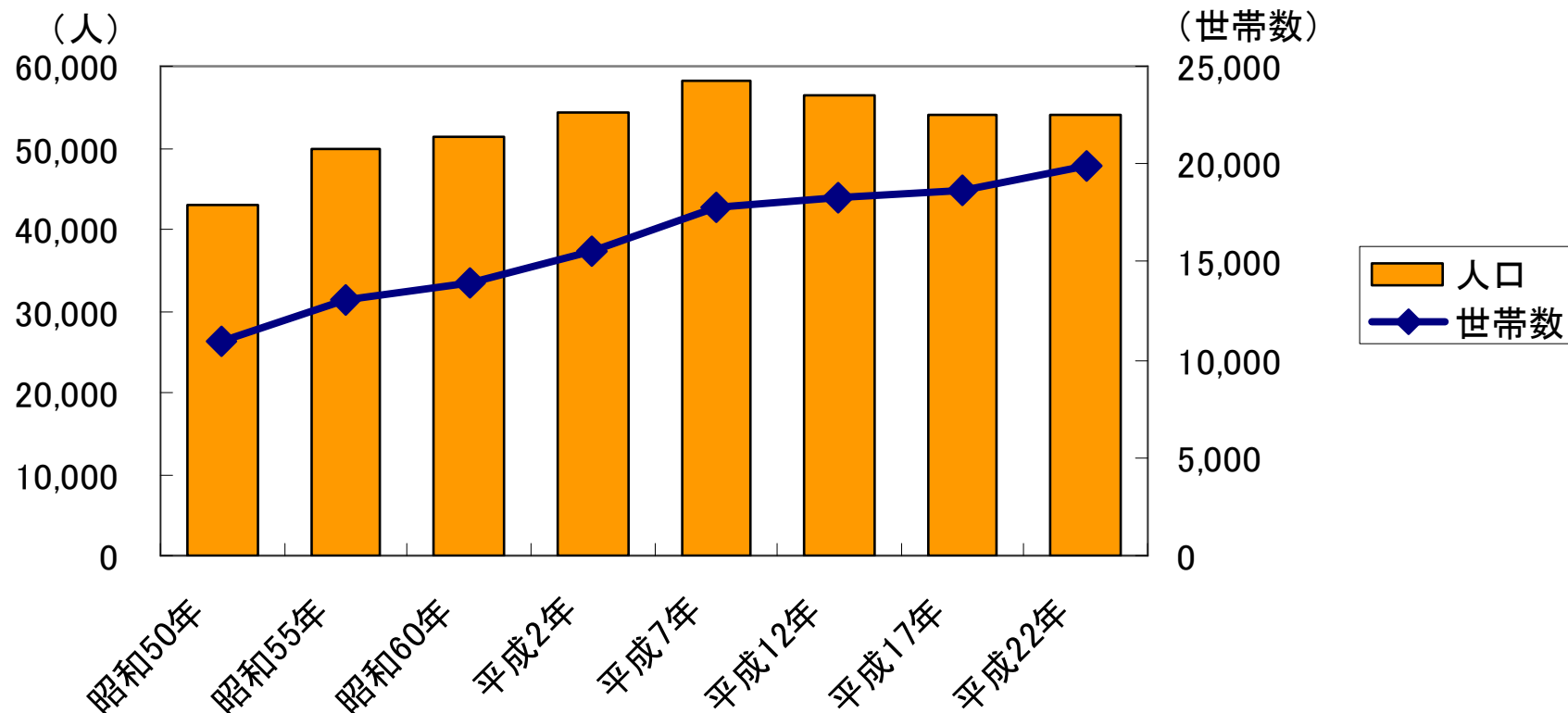


3. 幸手市の現状について

幸手市の人口

■人口・世帯数の推移

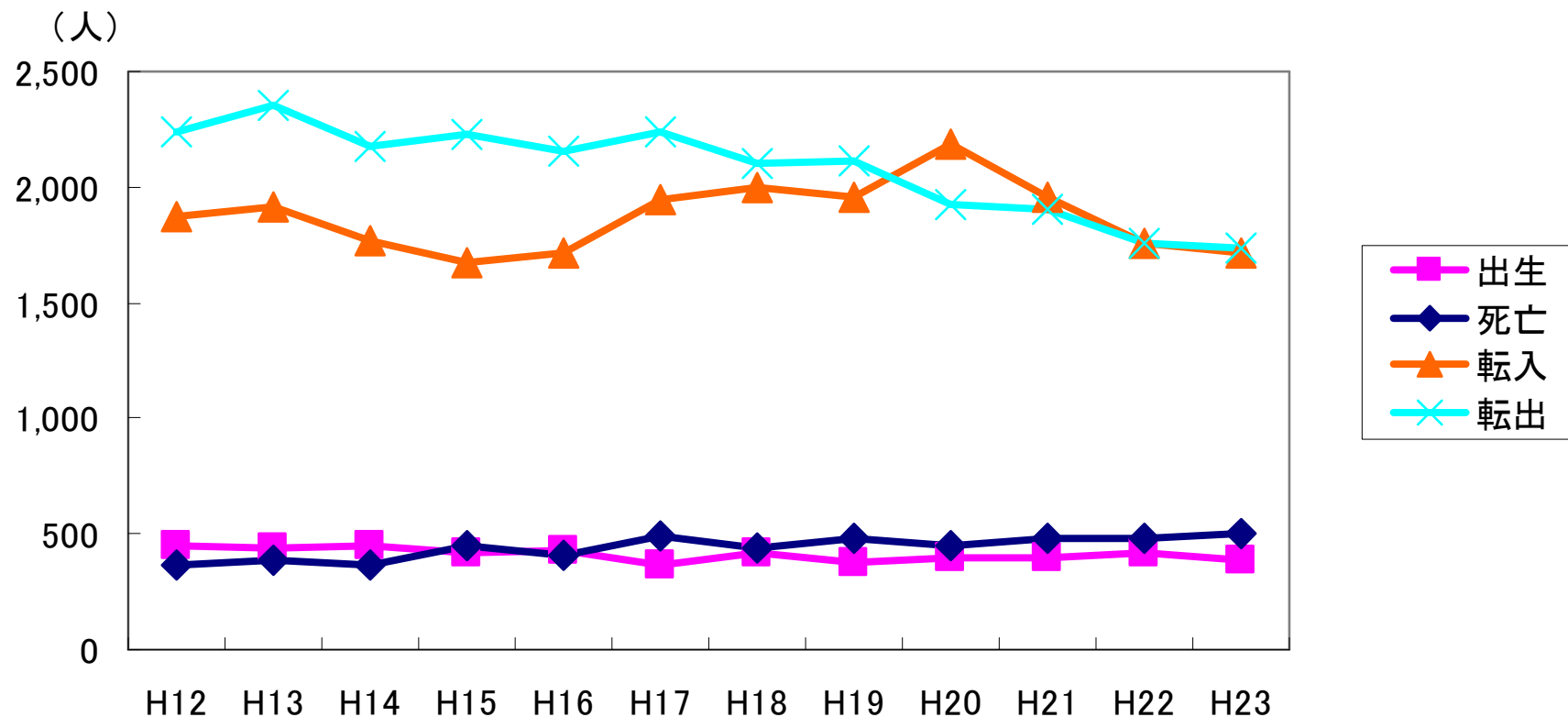
◆世帯数は増加しているが、人口は平成7年をピークに減少している。(平成22年時点:人口54,012人、19,904世帯)。



■人口動態

◆自然増加数(出生－死亡)は、平成17年以降マイナスとなっている。

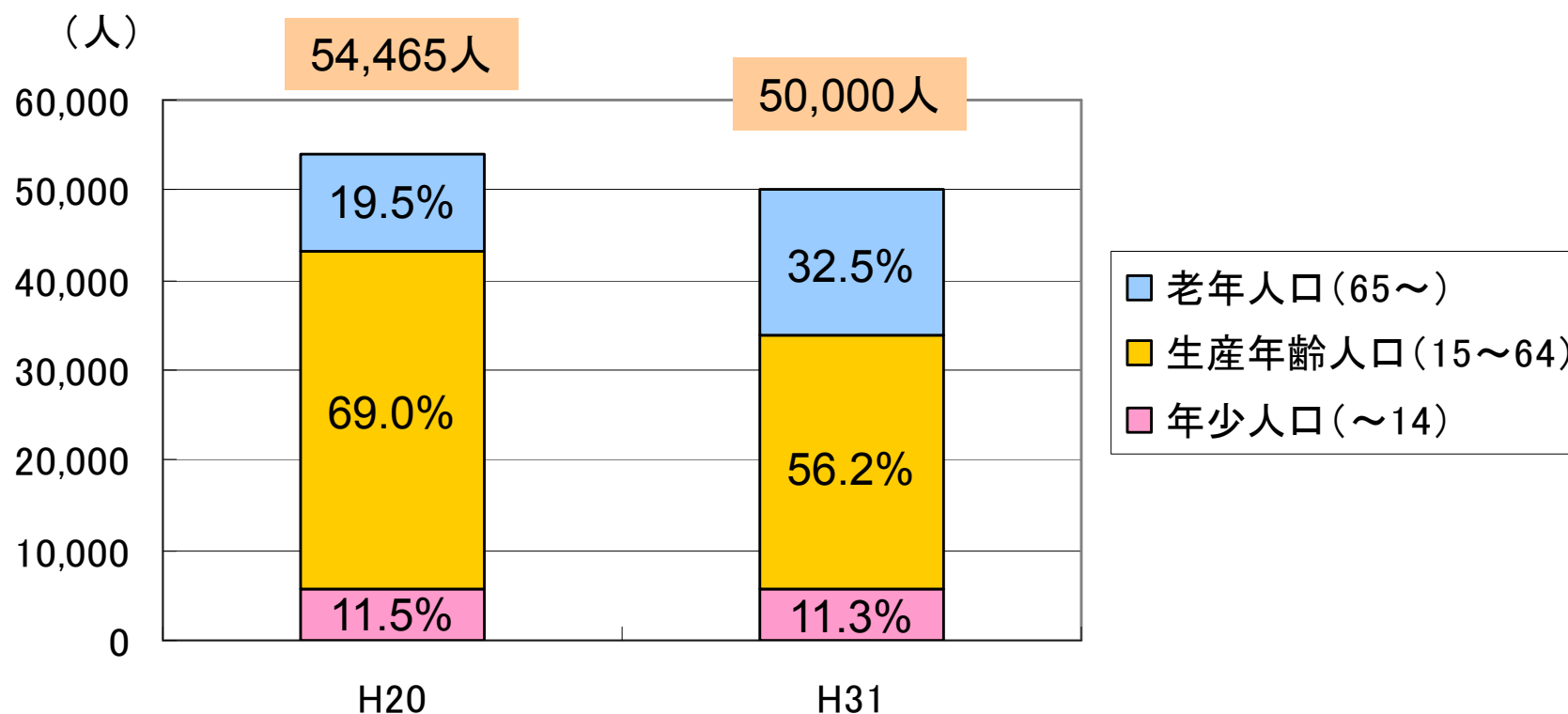
◆社会増加数(転入－転出)は、年々転出数が減少しており、近年はほぼ同数となっている。



■人口推計 （第5次幸手市総合振興計画基本構想より）

◆基本構想では、人口減少・高齢化傾向を踏まえ、平成31年時点の人口を約50,000人と推計。

※子育て支援や生活環境改善など、生産年齢人口の定住や年少人口の増加を促進する施策を行なったと想定した上での推計。



■人口の流入・流出

(通学・通勤等による人の移動)

◆流入人口は、近隣市町が上位となっている。

◆流出人口は、さいたま市その他、東武線沿線の市町が上位となっている。なお、県外では、東京23区に5,235人、茨城県に1,959人などの流出が見られる。

【流入】

県内合計:7,124人

県外合計:1,918人

市町村名	総数	うち 就業者数
杉戸町	1,419	1,347
春日部市	996	817
久喜市	979	914
宮代町	510	474
旧栗橋町	494	478

【流出】

県内合計:10,977人

県外合計: 8,442人

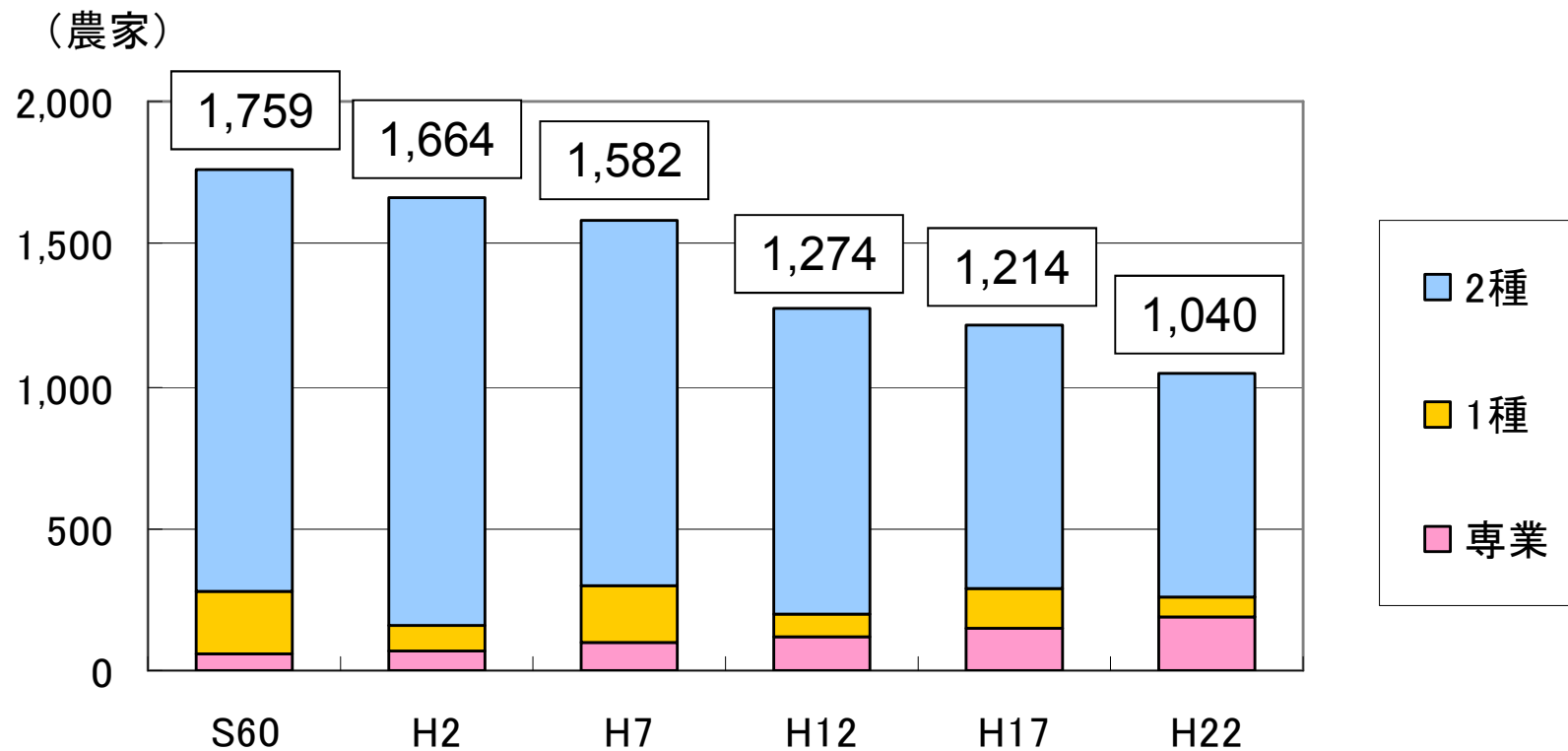
市町村名	総数	うち 就業者数
さいたま市	1,818	1,465
久喜市	1,536	1,358
春日部市	1,470	1,249
杉戸町	1,064	950
越谷市	703	577

※H17国勢調査

幸手市の産業

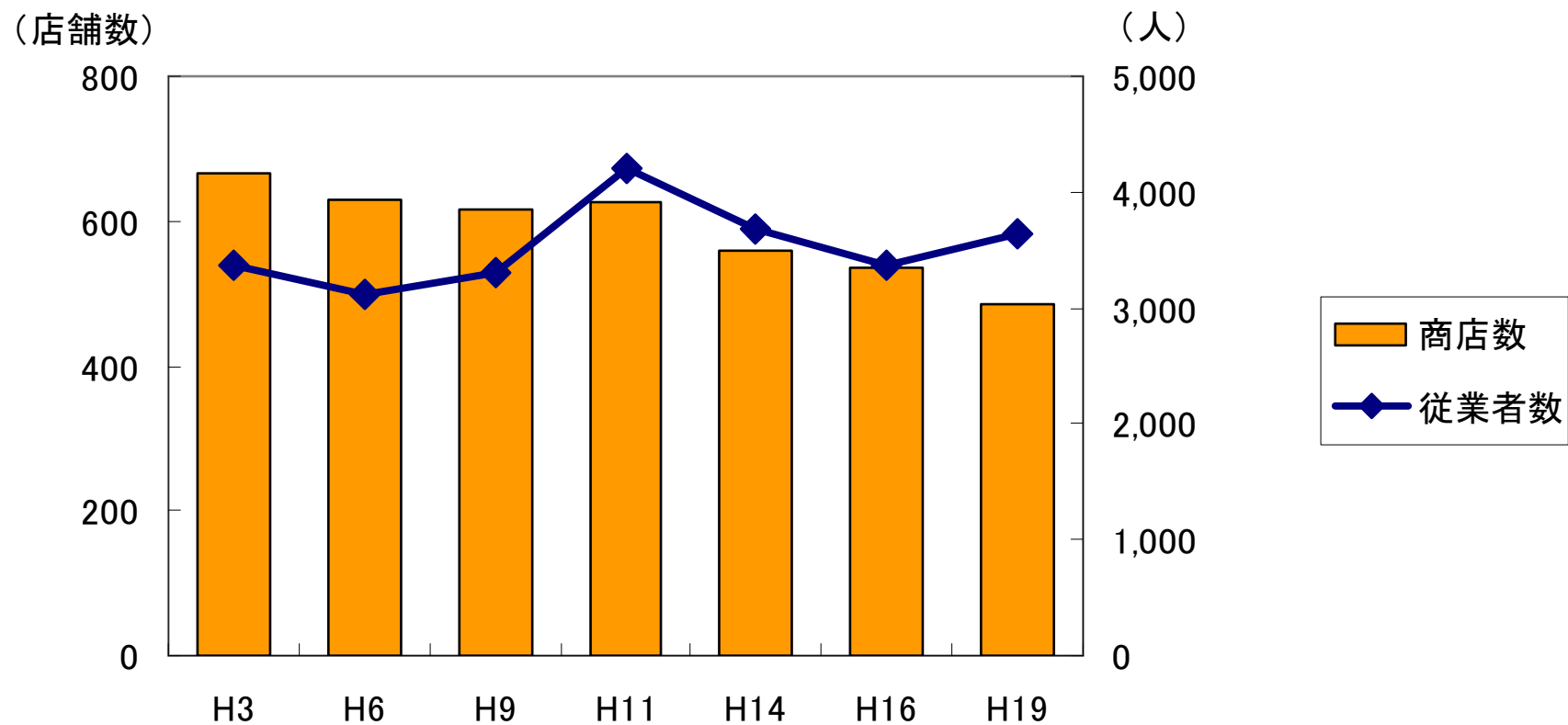
■農家数

◆農家数は年々減少しており、昭和60年からの25年間で約6割になっている。



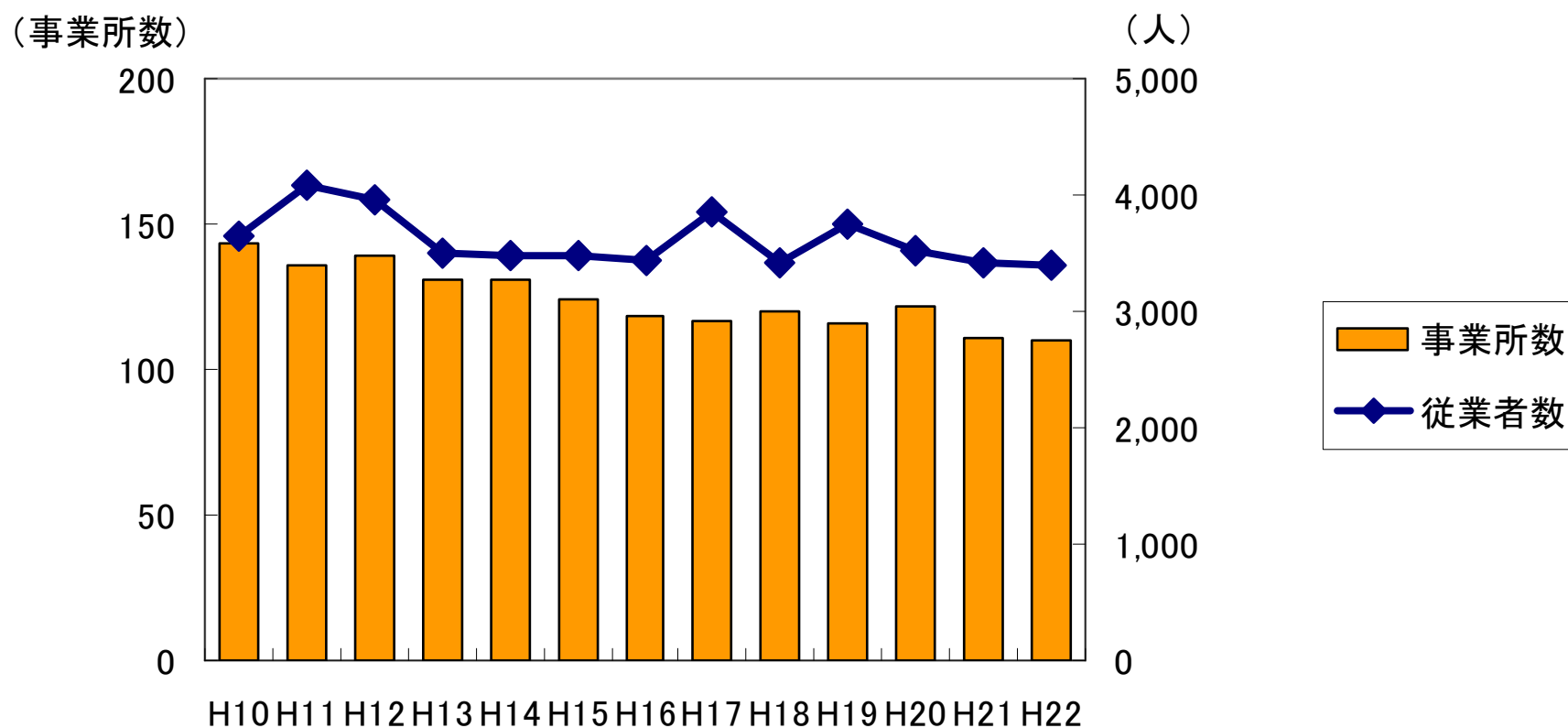
■商店数及び従業者数

◆商店数は減少傾向にあるが、従業者数は3,000～4,000人で推移している。



■事業所数及び従業者数

◆事業所数は減少傾向にあるが、従業者数は3,000～4,000人で推移している。





市民アンケート調査結果

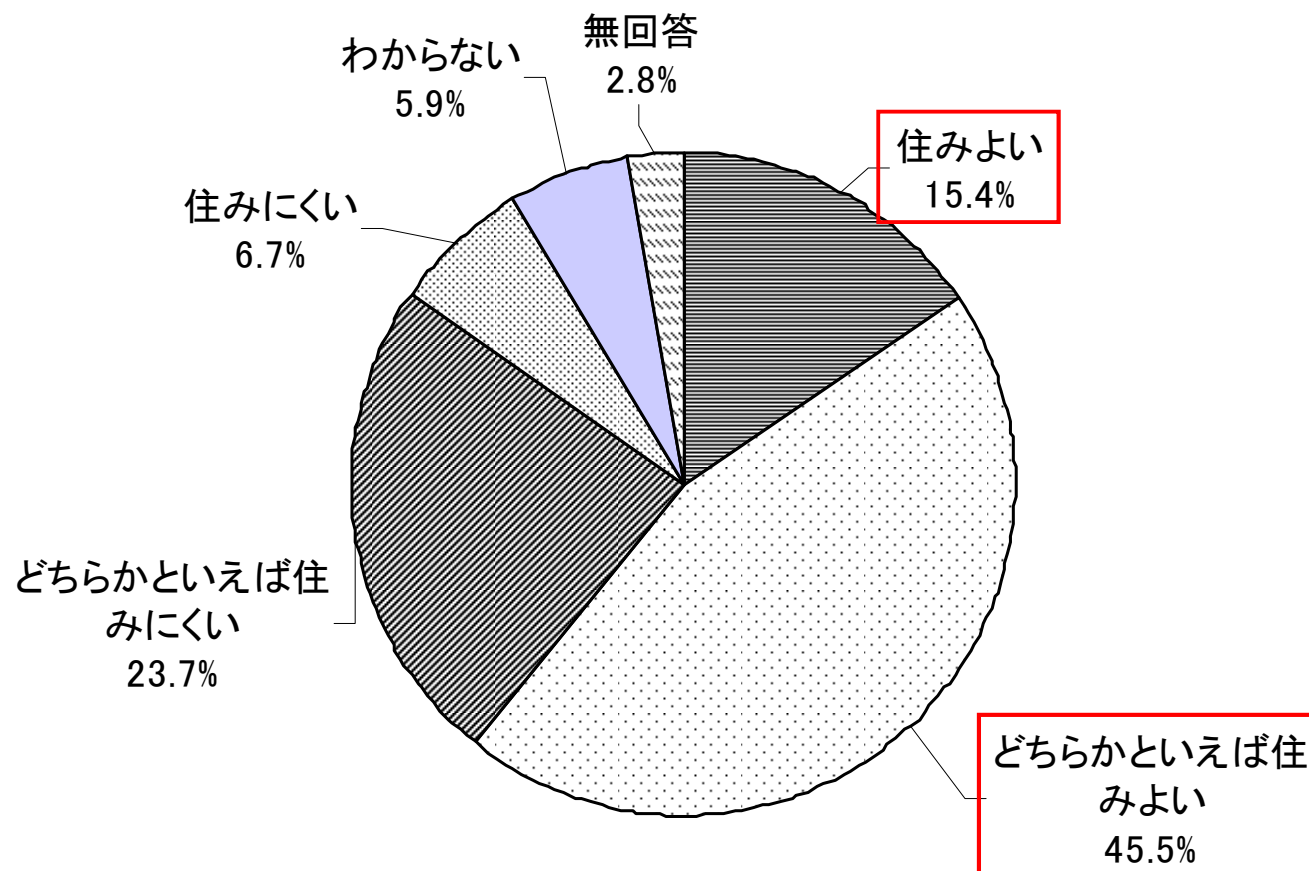
後期基本計画の策定に関して、市民の皆さんのご意見等を把握するために、市民アンケート調査を実施しました。

【実施概要】

調査対象	無作為抽出による18歳以上の市民
発送数	2, 0 0 0
回収数	9 4 0
回収率	4 7 . 0 %
調査方法	郵送配布・回収
調査期間	平成24年12月3日～12月21日

●住み良さについて

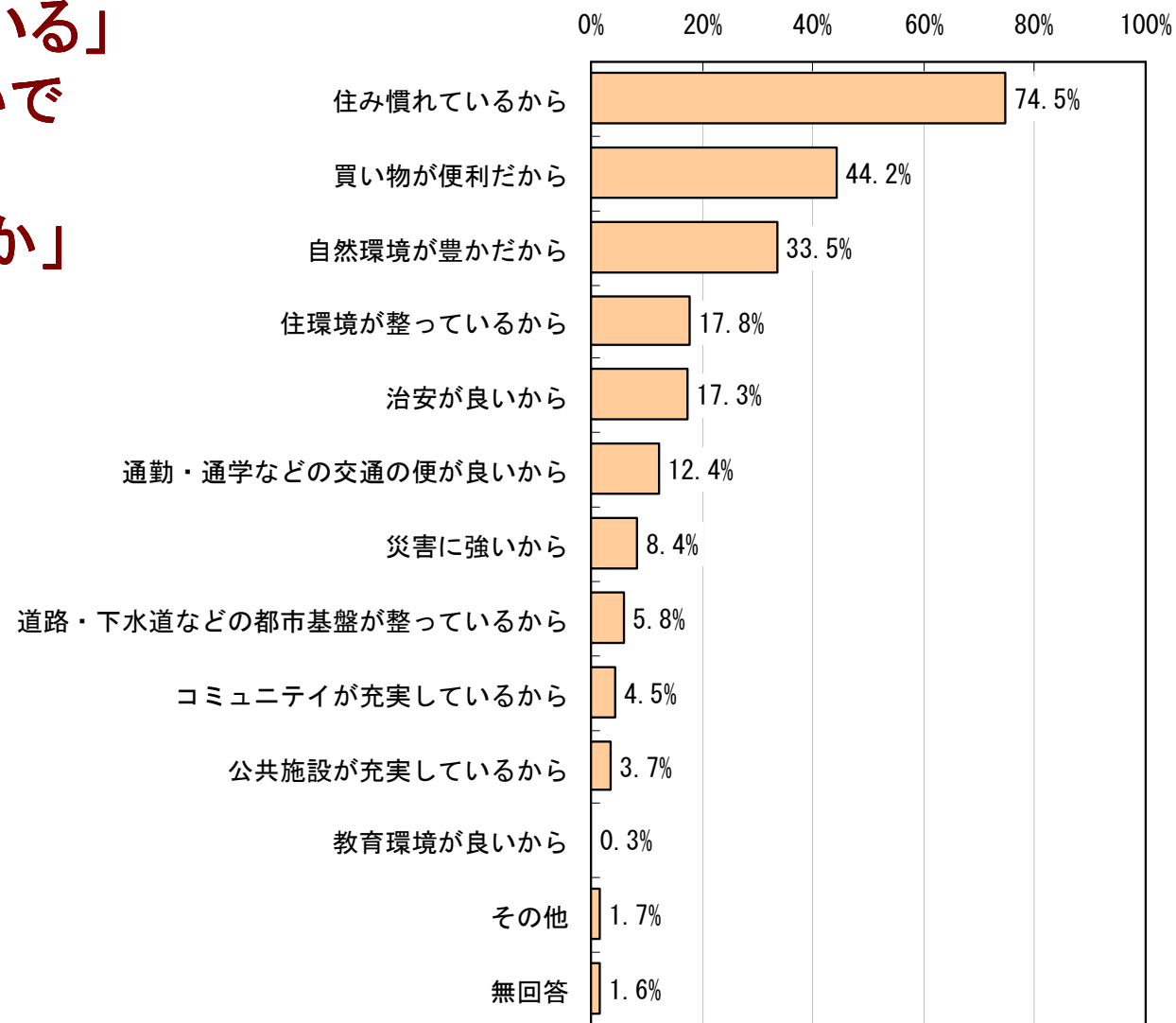
◆「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせて、約6割が幸手市が住みよいと回答している。



(N=940)

●住みよい理由

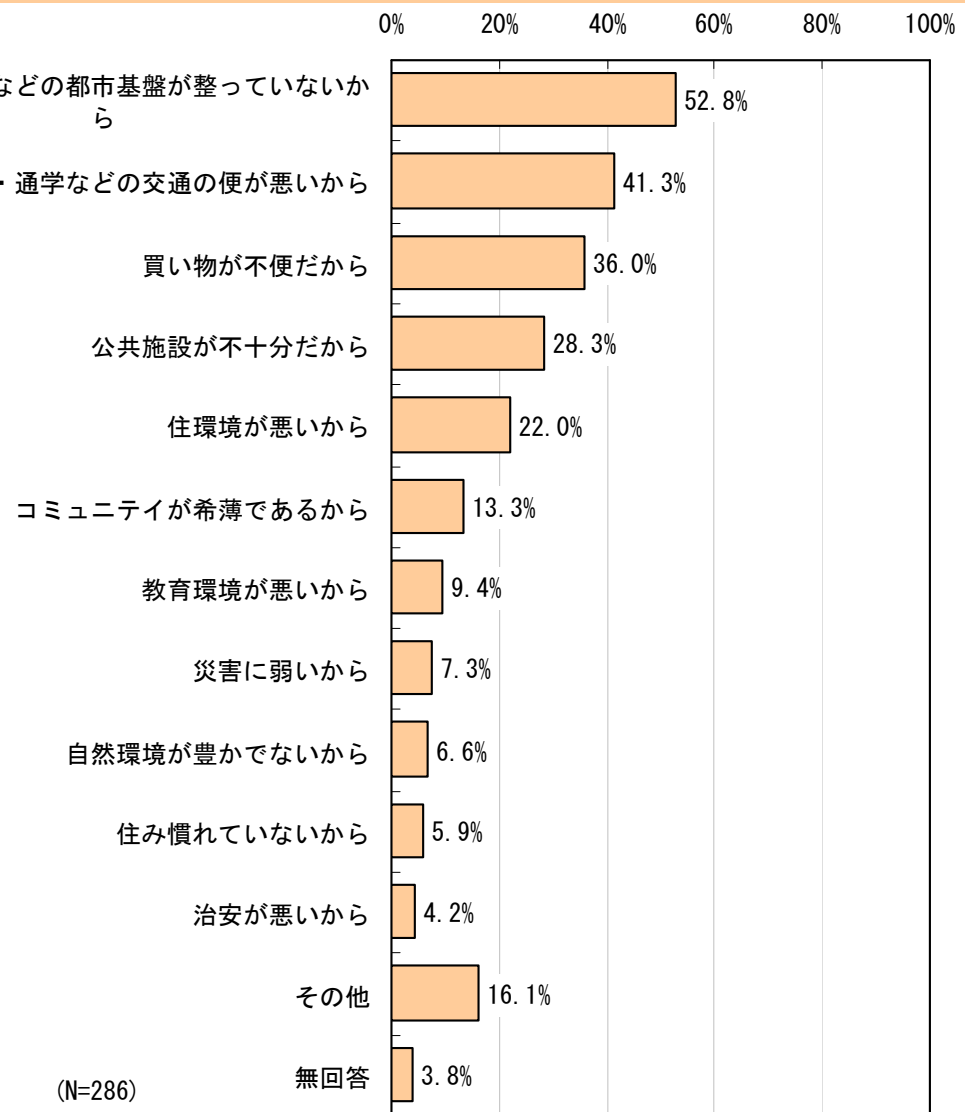
◆「住み慣れている」
が最も多く、次いで
「買い物が便利」
「自然環境が豊か」
となっている。



(N=573)

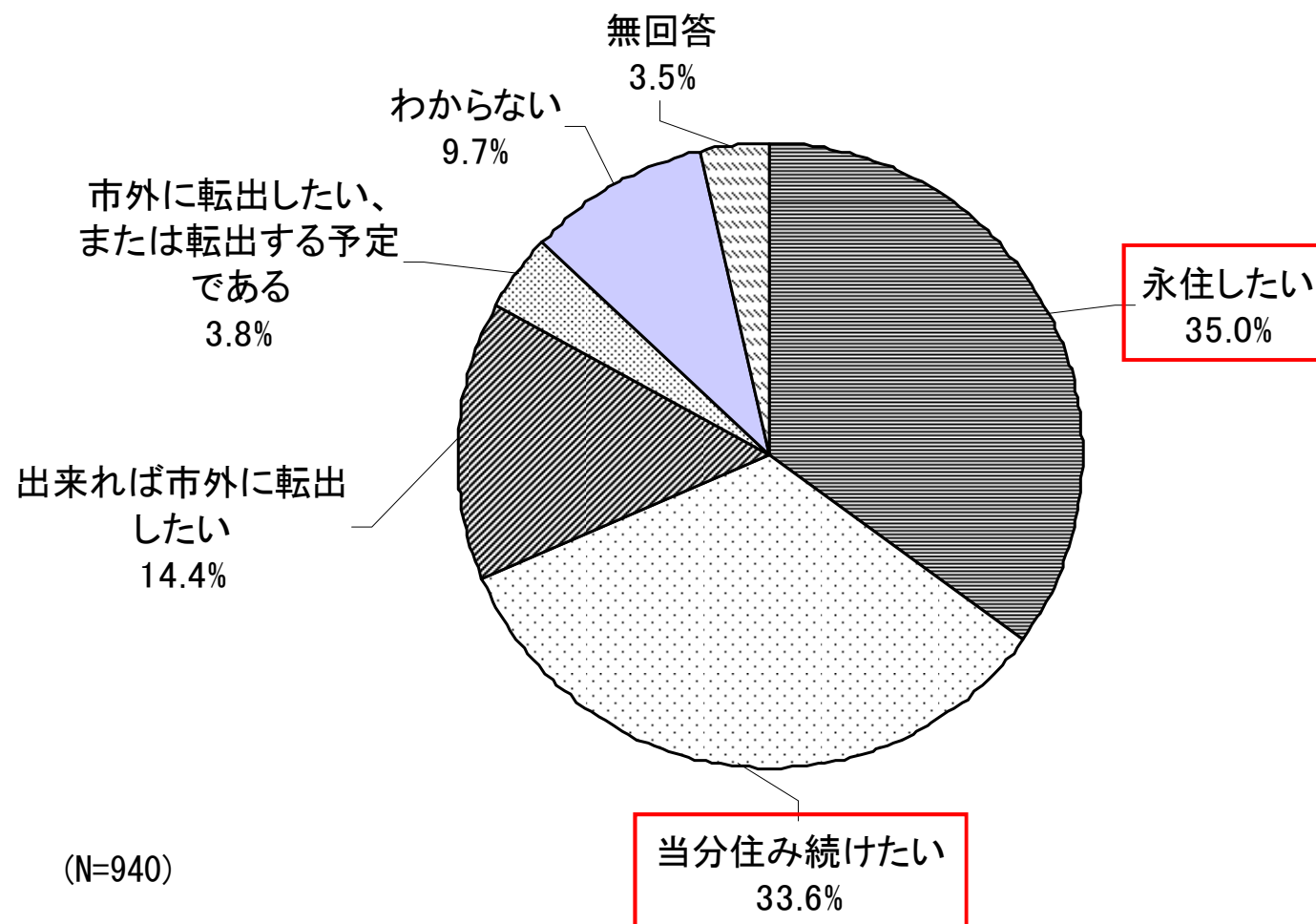
●住みにくい理由

◆「都市基盤が整っていない」が最も多く、次いで「交通の便が悪い」「買い物が不便」となっている。



●定住意向について

◆「永住したい」と「当分住み続けたい」を合わせて、約7割が幸手市に住み続けたいと回答している。





●満足度の高い施策

◆満足度の高い施策は、「ごみ・し尿処理」「公園・緑地整備」「健康づくり」の順となっている。

	項目	「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人の割合
1位	ごみ・し尿処理	48.7%
2位	公園・緑地整備	44.8%
3位	健康づくり	43.6%
4位	防犯対策	37.0%
5位	交通安全対策	36.1%



●満足度の低い施策

◆満足度の低い施策は、「計画的な土地利用」「商業振興」「工業振興」の順となっている。

	項目	「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人の割合
1位	計画的な土地利用	11.8%
2位	商業振興	12.2%
3位	工業振興	12.7%
4位	消費生活行政	14.5%
5位	農業振興	14.9%



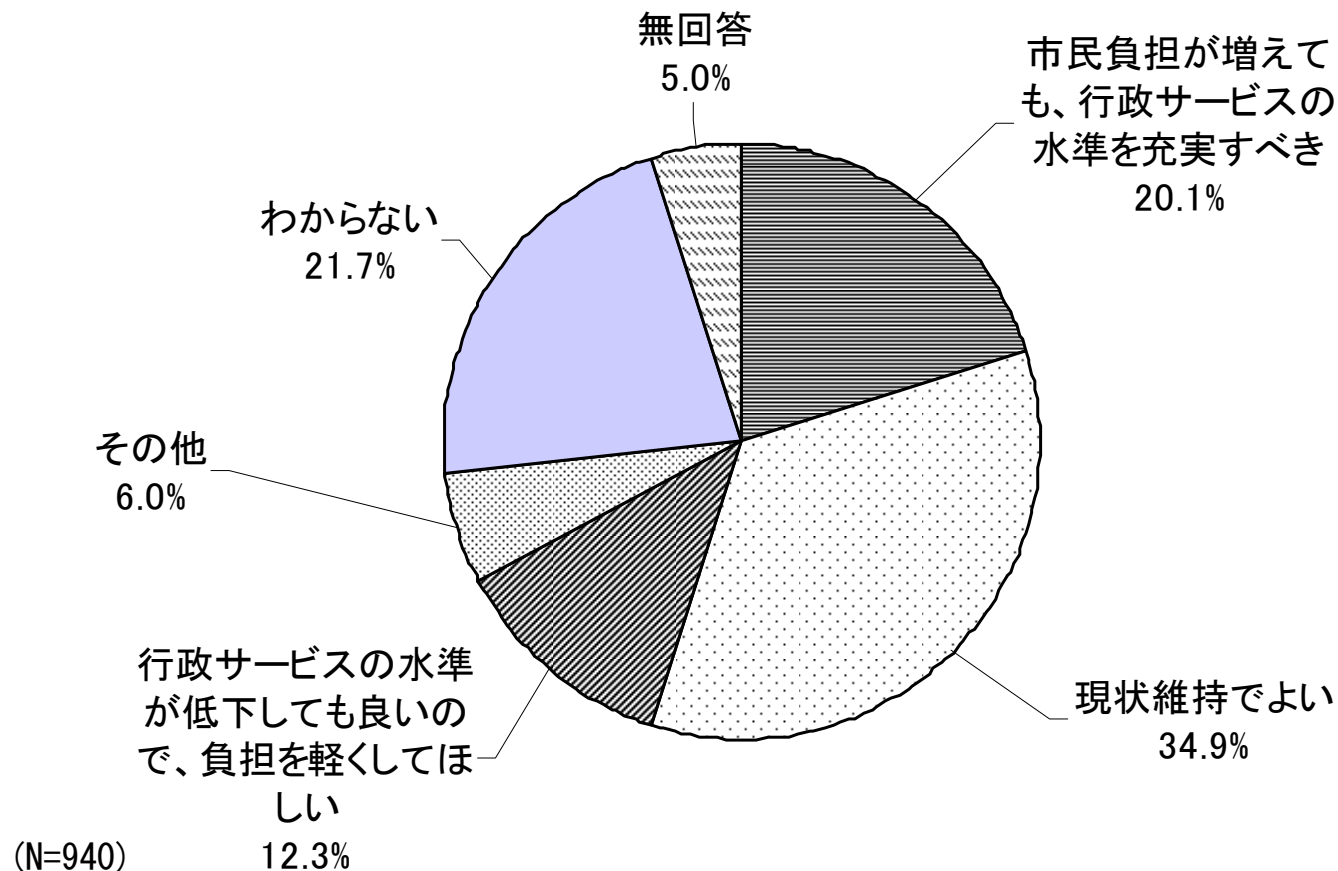
●重要と考える施策

◆重要度の高い施策は、「医療施設・医療体制」「防犯対策」「災害対策」の順となっている。

	項目	「重要」「どちらかといえば重要」と回答した人の割合
1位	医療施設・医療体制	85.1%
2位	防犯対策	82.9%
3位	災害対策	82.1%
4位	交通安全対策	80.3%
5位	ごみ・し尿処理	79.7%

●市民の負担と行政サービスとの関係について

◆「現状維持」が最も多く、次いで「市民負担増でもサービス水準を充実」「サービス水準低下でも市民負担を軽減」となっている。





4. 意見交換とまとめ

2つのグループに分かれて
「幸手市のまちづくりにとって重要なテーマ」
について意見交換を行います。

グループワークのイメージ

グループワークでは、限られた時間でたくさんの意見をいただくために、KJ法を用いたワークショップを行います。

◆KJ法とは

ご意見を「ラベル」に記入していただき、その「ラベル」を進行役が模造紙上で整理しながら、みなさんの意見の全体像をその場で「見える」形でまとめていく手法です。

◆ラベル記入について

- ①「ラベル」に記入した内容が、記録として残ります。
ご意見は「ラベル」に書き残して下さい。
- ② 後で整理しやすいよう1枚の「ラベル」に1つの意見を書くようにしてください。

KJ法でのまとめイメージ

